

鯖江中学校 第2学年 宿泊学習 地震対策について

(1) 国立能登青少年自然の家（震源より直線距離で約70km）での対応について

①被害状況・施設の受け入れ状況

- ・5/5（金）に石川県珠洲市で発生した地震、または、それ以降の余震による人的被害・物的被害なし。
- ・現在も、通常通り体験学習や宿泊体験を行っている。

②体験学習・宿泊体験中に地震が発生したときの対応

館内放送&教員に直接連絡→避難指示→所員の誘導でグラウンド or 体育館に避難

③各体験活動における見守り体制

カヌー体験（体験生徒33名 … インストラクター1名&1名待機 + 教員2名

いかだ体験（体験生徒34名） … インストラクター2名 + 教員2名

カッター体験（体験生徒35名）… インストラクター2名&1名待機 + 教員2名

アーチェリー体験（体験生徒53名）… インストラクター1名 + 教員2名

ディスクゴルフ体験（体験生徒101名）… 教員5名

本部待機教員1名（緊急時対応）

※カヌー体験・いかだ体験・カッター体験は、敷地内のプールや池で実施されるため、津波の心配はなし。

④学校連絡メールや鯖中ブログを活用し、生徒の活動の様子を保護者の方に伝える。

(2) 金沢市内班別研修時の対応について

①各班に携帯電話を配付する。 →緊急地震速報対応、本部と学校にのみ連絡できるもの。

②地震による影響で携帯が使用できない時の対策

→昼食費等を持っているので、公衆電話や近くの施設などで本部や学校に電話する。

③学校連絡メールや鯖中ブログを活用し、生徒の活動の様子を保護者の方に伝える。

(3) 事前指導について

①生徒用しおりに「地震発生時の対応」をのせる。

②地震対策避難訓練を実施する。 →5/9（火）実施済み

③地震対策や地震発生時の避難方法について話し合う時間を設定し、防災意識を高める。

→5/12（金）実施予定

地震発生時の対応について（生徒用しおり掲載用）

5／15（月） 国立能登青少年交流の家

①地震発生

- 〈室内〉・机や台などの下にもぐる。 ・上着や本などで頭を保護する。 ・窓から距離をとる。
〈屋外〉・建物や塀などから離れる。

②館内放送の指示に従って、体育館やグラウンドに避難する。（所員さんの誘導）

5／16（火） 金沢市内班別研修

①地震発生

- 〈室内〉・机や台などの下にもぐる。 ・上着や本などで頭を保護する。 ・窓から距離をとる。
〈屋外〉・建物や塀などから離れる。

②避難する。

〈研修先への訪問中〉

各施設の避難指示に従って避難する。

→安全に気を付けながら、本部の「いしかわ四校記念公園」に移動する。



〈移動中や屋外にいる場合〉

→建物や塀などから離れて、安全を確保する。

→揺れが治ったら、安全に気を付けながら、本部の「いしかわ四校記念公園」に移動する。

※「いしかわ四校記念公園」への移動が困難な時は、班の携帯電話で本部（080-2454-4656）、または鯖江中学校（0778-51-2890）に連絡し、その後の指示を聞く。

【もしも、班員が大ケガをしたら・・・】

①119番に電話をして、救急車を呼ぶ。

②ケガをした人＋付き添い1名は、救急車に乗って病院に向かう。

付き添いの人は、病院に着いたら本部に電話をする。

③残ったメンバーは、班の携帯電話で本部に連絡し、指示を受ける。

～避難時は「おかしも」～
おさない かけない
しゃべらない もどらない